

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-168	小学校	国語科	書 写	第 4 学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 407	小学 書写 四年		

1. 編修の基本方針



学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ

自ら問い、考え続け、
社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、
私たちはこの教科書をつくりました。



課題解決に向けて

「考える力」「書いて伝え合う力」 を育みます。

文字を整えて書く原理・原則を理解し、
自分のめあてと向き合って書く過程をととして、
子どもたちは「学び方」を身につけます。
よりよく伝えるための書き表し方を考え、
工夫する過程をととして、子どもたちは「伝え方」を身につけます。
本書は教育基本法に示された目標の実現に向けて、「学び方」と「伝え方」を軸に、
生涯にわたって豊かな文字の使い手となるような教材を選定・構成しています。



特色 1

「書く力」が身につく —すべての学びを支える—

よい姿勢と持ち方、運筆のしかたを身につけると、長い時間書いていても疲れません。よい学習習慣が身につくことで、各教科の学びを支えます。

特色 2

「学び方」がわかる —自ら学びたくなる—

文字を書く原理・原則を見つける力が、他の課題に出会ったときに、解決法を見つける力になります。
自ら見つけた「わかった！」が学ぶ意欲につながります。

特色 3

「書き方のこつ」 「伝え合う楽しさ」を知る —日常生活で使いたくなる—

子どもの日常における「書く場面」を徹底的に取材し教材化しました。
「書き方のこつ」を使ってみたい意欲、伝え合う楽しさを実感した体験が、生涯にわたり「書きたい子ども」を育てます。

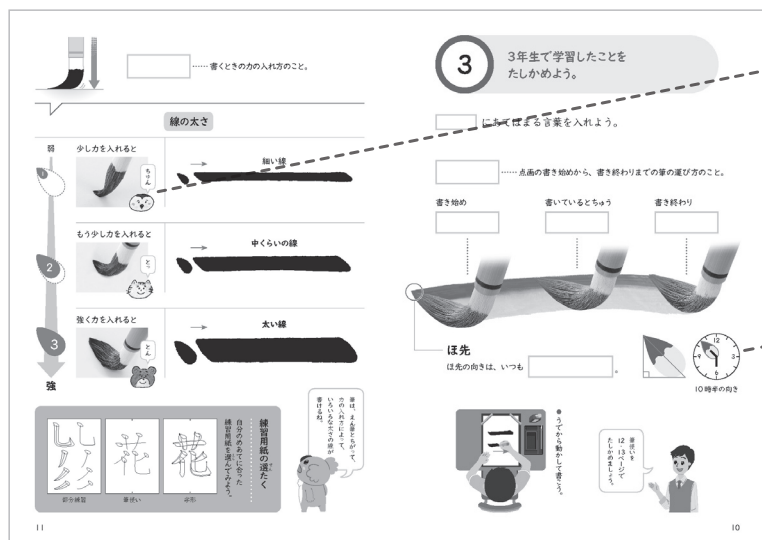
● いつもよいしせいで学習しよう！

よい姿勢を保つには、「こし びん」「足 ぺた」「ぐう 一つ」の合い言葉で腰を起こし、背筋を伸ばすことが大切です。
姿勢や持ち方が正しいと、疲れにくく、「学びが持続」します。

パソコンやタブレットを使うときも、書写で身につけた「よいしせい」を想起することで、子どもの健康を守ります。



▲ p.8



▲ p.10-11

● 運筆リズムを、音声や視覚でわかりやすく

筆圧を「ちゅん」「とっ」「とん」などの音声や、キャラクターの動作で表すことで、体感しながら身につけることができます。

● 子どもがわかりやすい「例え」の図版

穂先の向きを子どもにわかりやすいように、時計の針に例えたイラストで表現するなどの工夫をしています。

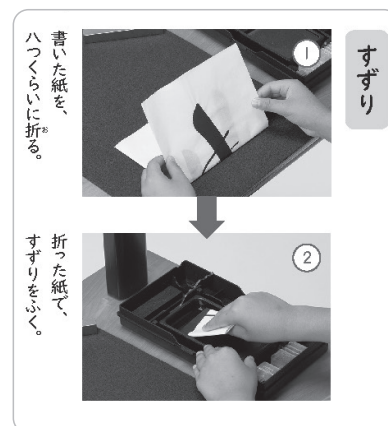
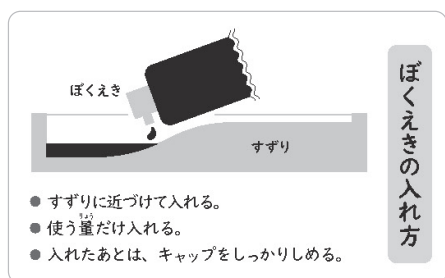
● 毛筆学習の「肝」となる、「墨の扱い方」を丁寧に解説

筆に墨をどのくらい含ませればいいのか、硯に墨を入れるときの注意点など、机間指導で伝えたいことを具体的に図示しています。



使ったあとは硯を反故紙で拭くなど、環境にも配慮しています。

▼ p.6-7 ▼



▲ p.14



● 書き方の原理・原則を理解

⇒ 他の文字にも応用

筆順のきまりを知り、その原則を他の文字にも応用できる構成です。

最後に言葉を書く活動によって、活用する力をつけます。

▼p.24

て書こう。

安	波	類	然
委	決	1 3	1 2
		2	3

●筆順に
気をつけて
書こう。

写真	波音	種類	自然
----	----	----	----

● 対話的な学びを支援

「書写の言葉」を使って、どんな内容を伝え合うのかイメージできるように、対話の場面を例示しています。

▼p.17

書写の言葉の例

どの部分か？

- 始筆
- たて画
- 送筆
- 止め
- 終筆
- はね
- 横画
- 左はらい
- 点
- 〇画めの〇〇が

どうなっている？

- 「だんだん細く入っている。」
- 「しっかり止めている。」
- 「左なめの上を向いている。」

ふり返りカードを
書いて
次の字面に
生かそう。

17

● 言語活動で生きる「活用力」＝「レッツ・トライ」

身につけた書写の力が、学校生活や学習活動の「どの場面」で生かせるのかが、すぐにわかるように構成されています。



教育関連などを示すコアラの旗マーク

都道府県名を手書き文字で掲載。

都道府県名を手書き文字で掲載。

熊本	香川	鳥取	滋賀	山梨	東京	福島	北海道
大分	愛媛	島根	京都	長野	神奈川	茨城	青森
宮崎	高知	岡山	大阪	岐阜	新潟	栃木	岩手
鹿児島	福岡	広島	兵庫	静岡	富山	群馬	宮城
沖縄	佐賀	山口	奈良	愛知	石川	埼玉	秋田
	長崎	徳島	和歌山	三重	福井	千葉	山形

ふり返ろっ

文字の大きさや行の中心に
気をつけて書いたかな。

ふくできた 〇 てかた 〇 ろうしん

おじいちゃん、おばあちゃん、お元気ですか。わたしは今、なつとびを毎日がんばっています。この前、二重とびができるようになりました。今度会った時に見てください。いつまでも元気でいてね。

ゆうか

「はがき」けい老の日はがき

文字の大きさや
行の中心に
気をつけて書こう。

「はがき」を
はがきを
はがきを
はがきを
はがきを

やってみよう

はがきを
はがきを
はがきを
はがきを
はがきを

中村 新一様
つるぎ町 春子様
中村 ゆう子

文字は、次の順に大きく書く。
① 相手の名前 ② 相手の住所 ③ 自分の名前 ④ 自分の住所

31

30

▲ p.30-31

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
1 はじめの学習	● 運筆しやすい姿勢・執筆法が定着するよう、よい筆記具の持ち方と姿勢を丁寧に解説し、児童の健康に配慮しました。〈第1号〉 ● さまざまな運筆線を書く活動をととして、適切に運筆する能力を高めるように配慮しました。〈第1号〉	p.6-14
2 点画の筆使い	● 基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養になるように配慮しました。〈第1号〉	p.12-13 など
3 点画のせし方と間かく	● 確かな書く力を身につけることにより、主体的に社会の形成者として寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第3号〉	全般
4 筆順と字形	● 穂先の通り道が理解しやすい朱墨の図版を提示することで、適切に運筆する能力を高めるように配慮しました。〈第1号〉	全般
5 ひらがなの筆使い	● 教材の児童名、キャラクターの男女比に配慮しました。〈第3号〉	全般
6 文字の組み立て方（左右）	● 教材の言葉、文章として、生命を尊ぶ心の育成や、自然、環境を意識できるように配慮しました。〈第4号〉	全般
7 文字の組み立て方（上下）		
8 学習のまとめ	● 書くことで日本語の美しさを体感でき、心が豊かになるような教材語句や文章を選定しました。〈第1号、5号〉	p.42-45、50-51、53-56
書きぞめ		
学習の進め方	● めあてを確かめて、その結果を評価する活動を継続することで、自主及び自律の精神を養うようにしました。〈第2号〉	p.5
書きぞめ	● 書き初めの言葉として、『元気』『美しい空』を書くことや、書き初めの由来にまつわるコラムによって、日本の伝統と文化への関心が高まるようにしました。〈第5号〉	p.50-56
【レッツ・トライ】	● 敬老の日のはがきを書く活動によって、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。〈第3号〉	p.30
けい老の日のはがき	● 短歌を書く活動をととして、日本の伝統と文化を体感できるようにしました。〈第5号〉	p.39
【知りたい文字の世界】	● さまざまな郷土かるたや百人一首を知ることによって、郷土の文化、我が国の文化を尊重できるように配慮しました。〈第5号〉	p.40
さまざまなかるた		
学習の進め方	● グループで課題解決を行うことをととして、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うように配慮しました。〈第2号〉	p.5、15-17、18-19、28-29
2 点画の筆使い	● はがきや手紙の書き方を習得することで、幅広い知識と教養を身につけることができるように配慮しました。〈第1号〉	p.30、46
選たく（左右・上下）	● 学習した内容を、他教科や学校生活に生かしていく力を身につけるよう配慮しました。〈第2号〉	p.41、47-49、52
【レッツ・トライ】		
学習内ようをまとめる		
理科のノート		
けい老の日のはがき		
【書いて 伝え合おう】		
学級新聞を作ろう		

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

子どもの文字環境や文字文化を豊かにする

- 「どんなときに手書きで書く？」では、場面に応じた手書き文字の使い分けや価値を考える構成になっています。
(p.①-2)
- 書き初め教材として「元気」「美しい空」を掲載。書き初めの由来をコラムで扱うことで、日本の伝統文化への関心を高められるようにしました。
(p.50、53)



全ての児童にとっての学びやすさに配慮

● カラーユニバーサルデザイン

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウトを工夫しています。(p.24など全般)

● 人権上の配慮

社会の多様性を踏まえ、イラストや図版を含め教科書内の表現に配慮しています。(全般)

● 左利きの児童への配慮

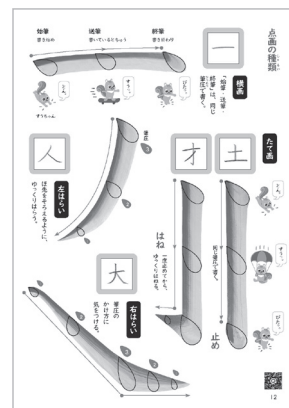
左利きで書く場合の毛筆用具の置き方を掲載することで、個別最適な学びに配慮しています。(p.7)

● ユニバーサルデザインフォント

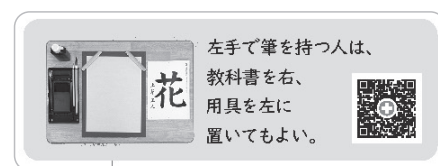
書写的な観点から見て、手書き文字と近い形で学習できるユニバーサルデザインフォントを使用しています。(全般)

● 特別支援教育、日本語指導を必要とする児童等への配慮

基本点画の名称と書き方を確認できるページは、支援が必要な児童に大変有効です。(p.12-13)



▲ p.12



▲ p.7

ハイブリッドな書写学習

● つながる、広がる、「まなびリンク」

教科書教材がまなびリンク(二次元コード)と連動しています。すべての毛筆教材について、運筆動画を見ることができます。(p.32など)

● タブレットPC等の活用

発達段階に応じて、タブレットPC等を効果的に活用できる学習活動を設定しています。

● デジタル教科書・教材の発行

教科書と同内容の学習者用デジタル教科書や、動画や資料を追加した学習者用デジタル資料集・指導者用デジタル教科書を発行します。



今日的な教育課題への対応

● ESD・SDGsへの取り組み

現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。

● カリキュラム・マネジメントへの対応

- 日常生活や学習活動における「生きてはたらく書写力」が育成できるように、「レッツ・トライ」や「書いて 伝え合おう」などのコーナーを設け、教科横断的に活用できる構成になっています。(p.18-19、p.28-29、p.47-49など)
- 「もくじ」で、他教科や日常生活で生かせる書式がビジュアルに一覧できます。(p.3-4)

学年間の円滑な接続

前学年で学習した漢字や、平仮名・片仮名の一覧表を掲載することで、既習事項を振り返ることができます。(p.59-61)

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「書く力」が身につく ―すべての学びを支える―



① めあて

② 考えよう

③ ここが大切

④ 生かそう

⑤ ふり返ろう

⑥ 広げよう

ためし書き

まとめ書き

学習の流れがわかりやすい!!

学習の流れがわかりやすい!!

▼ p.32-33

6 文字の組み立て方(全6)

1 め
べんどうくりの組み立て方に気を付けて書く。

2 ん
土がうしろに、んはのり。てうまかなう。

3 り
土がうしろに、りはのり。てうまかなう。

4 ち
土の横が左の方にはいり、ちの横が右の方にはいり、てうまかなう。

5 地
土の横が左の方にはいり、ちの横が右の方にはいり、てうまかなう。

土地

学習の始めと終わりに書く。

学習の始めと終わりに書く。

ための書き

ための書き

まごめの書き

まごめの書き

33

32

⑥ 他の学習や、日常生活に活用します。

【新聞】学級新聞を作ろう

書いて伝える合おう

「学習活動
で生かす
レッツ・トライ」

知りたい
世界の文字

● きょう土か
きょう土か

● きょう土か
きょう土か

コアラのこうちゃんが、
文字を書くときに考える
観点を投げかけます。



特色
2

「学び方」がわかる —自ら学びたくなる—

学習の手順がわかる

2年生以上の全学年に「学習の進め方」を収録。
子どもの書字例や活動写真を示すことで、自分で課題を解決していくための具体的な方法がわかり、意欲的・主体的に学習できます。

子どもの
書字例

日常への
活用例

学習の進め方

- 1 つかむ・考える
 - こう筆や毛筆でためし書きをしよう。
 - めあてにそった文字の書き方を知ろう。
 - ためし書きと教科書の文字をくらべて、気をつけることを見つけよう。
- 2 書く・たしかめる
 - めあてに気をつけているか、たしかめながら練習しよう。
- 3 ふり返る
 - まとめ書きをして、ためし書きとくらべよう。
 - めあてに気をつけて書けたか、友達と伝え合おう。
- 4 生かす・広げる
 - 学習した書き方を、他の文字にも生かそう。

◀ p.5

「主体的、対話的で深い学び」につながる学習活動

「知識・理解」「思考・判断」「活用」「対話的な学び」を支える学習材を豊富に掲載しています。

p.36-37 ▶

● 岩山コース — 土の組み立て方

それぞれの部分の高さが低くなる。

● 木材コース — 左右の組み立て方

はばがせくなる。

選ぶ(左右上下)

自分のめあてをもとに課題を選択する観点が表示されています。

選択教材によって、自分の課題を発見し、解決方法を考えながら練習する活動を行います。

自分のめあてをもとに課題を選択する観点が表示されています。

国語力の基礎を養う

国語で学習した教材を書写で視写することで、内容をより深く味わうとともに、豊かな言語感覚を養います。

▼ p.39

【※】短歌

秋風にたなびく雲のたえまより
もれいする月のかげのさやけや
金色のちいさき鳥のかたちして
いちようちるなり夕日のおかに

文章の大きさと配列に気をつけて書こう。

▼ p.45

「辺」

「文」の大きさと配列に気をつけて書こう。

「辺」の書き方

「辺」の書き方

相手意識・目的意識の大切さを知る「書いて 伝え合おう」

学習の最終的なゴールは、目的を考えて書く力を育てること。

巻末には、これまでの書写力を総合的に生かせるような活動を設定しています。

▼p.47～49

社会科の取材活動など、他教科の学習活動や日常生活へ生かせる活動を多数掲載し、カリキュラム・マネジメントに対応しています。



学年間の確かな系統性 ―硬筆教材一覧表

書写で身につけた力を、どの学習場面でも発揮できるように、各学年の学習活動に即した教材を系統的に構成しています。



学年	カード・はがき	手紙	ノート・原稿用紙 (ます目)	罫線など	学習成果物・学級活動	メモ
1年	ありがとうカード (生活)		お正月のできごと (国語) 横書きの書き方(算数)	かんさつカード(生活) 絵日記(国語)		
2年	年賀状(日常)	ありがとうパーティー の招待状(生活)	お正月のできごと (国語) 横書きの書き方(算数)	時間割(特活) 本の紹介カード(国語)		
3年	暑中見舞いのはがき (日常)	お店見学の礼状 (社会、国語)	セーフティ教室の作文 (国語)	作品カード(図画工作) 横書きの書き方 (国語、理科)	スーパーマーケットの 工夫(社会、国語)	スーパーマーケットで の見学メモ (社会、国語)
4年	敬老の日のはがき (国語、社会、日常)	学習発表会の案内状 (国語、特活)	理科のノート(理科)	横書きの書き方 (国語、理科)	家から出るごみの種類 と量(社会) 学級新聞(特活)	ダム見学での聞き取り メモ(社会)
5年	年賀状(日常、英語) 寒中見舞いのはがき (日常) 絵はがき(日常)	工場見学の礼状 (社会、特活) 転任される先生への礼 状(特活)			SDGsのポスター (特活)	工場見学メモ(社会)
6年	年賀状(日常)	卒業文集執筆の依頼状 (特活) 「卒業を祝う会」の案 内状(特活)		国語のノート(国語)	校外学習のリーフレッ ト(特活) 卒業制作(特活)	話し合いメモ(特活)

検討の観点と内容の特色

検討の観点	内容の特色
1 教育基本法・学習指導要領への対応	
① 教育基本法	- 基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養を身につけることができるよう配慮しました。 - めあてを確かめて、その結果を評価する活動を継続することで、自主及び自律の精神を養うようにしました。
② 学習指導要領	書写学習をとおして「社会に開かれた教育課程」を実現するために、「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養を柱として、主体的に学習に取り組み、課題解決を図れるよう編集しています。
2 内容の範囲・分量・程度	
① 教材の範囲・分量	各学年の教材は、年間30～35単位時間程度で、限られた時数のなかでも、過不足なく学習効果が得られるよう工夫をしています。
② 硬筆教材の内容と程度	児童の発達段階や語彙・言語環境などを考慮して、言葉としても適切で、学習要素が理解しやすい文字や語句を選定しています。
③ 硬筆教材の書風	学習指導要領の漢字配当表に示された字体を拠りどころにし、穏健・中正を心がけ、児童にとって書きやすいものとししました。
3 組織・配列	
① 基礎・基本の確実な定着	文字の書き方の秩序性を習得するために、姿勢・執筆や運筆方法、字形の整え方などの、基礎・基本が確実に習得できるよう構成されています。(p.6-14など全般)
② カリキュラム・マネジメントへの対応	「レッツ・トライ」「書いて 伝え合おう」の教材では、習得した書写力を他教科や日常生活に活用できるように関連を図っています。(p.18-19、28-29、30-31、47-49)
③ 国語科国語との関連	硬筆教材について、国語で学習した文学教材などから設定し関連を図るとともに、言語としての響きや豊かさを考慮しています。
④ 学年間の円滑な連携	前学年で学習した漢字や、平仮名・片仮名の一覧表を掲載することで、既習事項を振り返ることができます。(p.59-61)
4 特色・工夫	
① 適切に運筆する能力を高める	- よい姿勢を保ち、効率のよい鉛筆や筆の持ち方ができるよう配慮しています。(p.6-9) - 穂先の通り道を朱墨で明快に示しています。(p.10など全般)
② 主体的に学習に取り組める	「考えよう」「ここが大切」「生かそう」の学習ステップがわかるアイコンを提示することで、子ども自らが学習手順を理解できるようにしました。(p.5など)
③ 多様な文字文化への関心を高める	「知りたい 文字の世界」では、さまざまな郷土かるたを扱うことで、文字への興味・関心を高めるようにしました。(p.40)
④ デジタル機器を活用した学習	学習時に参照できる運筆動画等を、ウェブサイトで見られるようにしています。
⑤ SDGs への対応	現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。(p.18-19など)
5 表記・表現	
① 文章表現・表記・用語	文章表現は平易で簡潔であるとともに、運筆方法は伝わるように、具体的な言葉で示されています。
② 書体	書写的な観点から見て、手書き文字と近い形で学習できるユニバーサルデザインフォントを使用しています。
③ 紙面デザイン	見開きを基本とした見やすく使いやすいレイアウトにしています。
④ カラーユニバーサルデザイン	色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウトを工夫しています。
⑤ 特別支援教育、日本語指導を必要とする児童等への配慮	基本点画の名称と書き方について確認できるページが、全学年に設けられています。(p.12-13)
⑥ 人権上の配慮	社会の多様性を踏まえ、イラストや図版を含め教科書内の表現に配慮しています。
⑦ 左利きの児童への配慮	左利きで書く場合の持ち方を掲載することで、個別最適な学びに配慮しています。(p.7)
6 印刷・造本	
① 印刷・表紙	- 表紙には、抗菌加工と撥水コーティングを施し、墨や汚れに強い堅牢な造本となっています。 - 書き文字や、図、写真などの印刷は、鮮明で目にやさしいものとなっています。
② 紙・判型	- 紙の強度を維持しつつ、できるだけ軽量の紙を使用しています。 - 学習用具が多い教科特性をふまえて、机の場所をとりすぎないB5判サイズにしています。

2. 対照表

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

(ア) 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。

(イ) 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。

(ウ) 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容			該当箇所	配当時数
	ア	イ	ウ		
どんなときに、手書きで書く？ 目次	○	○	○	p.1-4	2
学習の進め方	○	○	○	p.5	
点画の種類	○	○	○	p.12-13	
1 はじめの学習	○		○	p.6-11、14	
2 点画の筆使い	○		○	p.15-16	2～3
ふり返り 伝え合おう	○		○	p.17	
レッツ・トライ「学習内ようをまとめる」	○	○		p.18-19	1
3 点画のせし方と間かく				p.20-21	2
4 筆順と字形	○		○	p.22-23	3～4
こう筆の学習 筆順と字形	○			p.24-25	
5 ひらがなの筆使い	○		○	p.26-27	2
レッツ・トライ「理科のノート」	○	○		p.28-29	1
レッツ・トライ「けい老の日のはがき」	○	○		p.30-31	1
6 文字の組み立て方（左右）	○		○	p.32-33	2
7 文字の組み立て方（上下）	○		○	p.34-35	2
選たく（左右・上下）	○		○	p.36-37	3～4
こう筆の学習 文字の組み立て方	○			p.38	
レッツ・トライ「短歌」	○	○		p.39	1
知りたい 文字の世界「さまざまなかるた」	○	○		p.40	適 時
レッツ・トライ「ぼうさいかるたを作る」	○	○		p.41	1
8 学習のまとめ	○	○	○	p.42-45	4～5
知っておこう「学習発表会の案内の手紙」	○	○		p.46	適 時
書いて 伝え合おう「学級新聞を作ろう」	○	○		p.47-49	
書きぞめ	○	○	○	p.50-51	3～4
知っておこう「ダム見学での聞き取りメモ」	○	○		p.52	
書きぞめ	○	○	○	p.53-56	
漢字表 四年生で学習する漢字 三年生で学習した漢字	○	○		p.57-60	適 時
横書きの書き方	○	○		p.60	
ひらがな表 かたかな表 筆記具の特ちょう	○	○	○	p.61	
				計	30～35